



全国高校サッカー選手権大会千葉会場（千葉県総合運動場）〈稲毛区〉

第4回定例会のあらまし

平成11年第4回定例会が、11月29日から12月15日までの17日間の日程で開かれました。この定例会では、基本構想や一般会計補正予算および条例の一部改正など16件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。また、意見書5件、決議1件、請願3件を審議したほか、各会派の代表質問が7人の議員により、一般質問が10人の議員により行われました。

可決した主な議案

千葉市基本構想を改定

〔基本構想〕

千葉市新総合ビジョン審議会の答申を踏まえ、都市づくりの基本的方向性を示す、千葉市基本構想を改定します。

〔予算〕

*一般会計補正予算

国庫補助金の決定に伴う公園整備費や小中学校校舎等買収費、さらに生活保護費などの福祉対策費を追加するとともに、緊急地域雇用対策事業として中高年者就業支援パソコン教室など5事業費を計上するなど、合わせて四十七億八千七百万

*特別会計補正予算

下水道事業会計に三億一千六百万円を追加します。これにより特別会計の予算総額（企業会計も含む）は、二千九百二十一億七千七百万円になります。

緑区鎌取コミュニティセンター 1月15日オープン

〔条例〕

千葉市コミュニティセンター設置管理条例の一部改正

新たに緑区鎌取コミュニティセンターを設置するため、条例の一部を改正します。千葉市立図書館設置条例の一部改正

新たに緑区図書館を設置するとともに、図書館の名称を変更するなど、条例の一部を改正します。

〔工事請負契約〕

若葉区北谷津町地内の若葉いきいきプラザの新築工事を四億三千九百万円で行います。

〔工事委託契約〕

中央区蘇我町2丁目地内の都市計画道路蘇我町線JR内房線・京葉臨海鉄道線交差点工事（その1）を九億五千九百万円で委託します。

〔人事案件〕

助役に、島田行信氏を選任することに同意しました。

代表質問から

市民自由クラブ

平成12年度予算編成の基本的な考え方について
 Q 12年度予算編成に当たっての市長の意向を伺いたい。
 A 12年度の財政収支をどのように見通しているのか伺う。
 現下の国・地方を取り巻く財政環境は極めて厳しい状況にあり、本市も厳しい財政運営を強いられる。このような中で、限られた財源を最大限有効に活用し、21世紀に向けて市民が健康で明るく快適な生活を送れるよう、第6次5か年計画事業の確実な推進をはじめ、地域経済の活性化や介護保険制度の円滑な実施など、全力を挙げて「市民生活優先」の予算を編成することが、私に課せられた責務である。

新年度の財政収支見直しは、自主財源の根幹をなす市税収入において、固定資産税の評価替えの影響などから減収が見込まれる。一方、歳出は、義務的経費の増に加え、市民生活にかかわりの深い事業や地域経済の活性化に資する事業を優先に推進する必要があるほか、ソフト施策の充実などに多額の財政需要が見込まれ、21世紀への懸け橋となる施策の推進にも配慮する必要がある。財政収支は極めて厳しい状況にある。

経営の観点から

下水道整備について
 Q 下水道経営の観点から、市街化調整区域の整備順位決定については、事業効果の高い既設団地や市街化区域に隣接する集落地区を優先にすべきと考えるが、見解を伺う。
 A 下水道整備に当たっては、経営の観点から、費用対効果などを念頭に、その整備地区や整備順位を決定すべきであると認識している。現在進めている「中水基本計画の見直し」作業の中で、整備順位についても検討を重ねているが、市街化区域に隣接する集落は比較的に費用で整備でき、また、既設団地などは事業効果が高く、効率的に普及拡大が図れることから、整備順位は高いとされている。平成12年度上期に、地域特性なども考慮し、具体案を出していきたい。



下水道工事現場

千葉市議会公明党



12月7日(市民自由クラブ・千葉市議会公明党)、8日(日本共産党千葉市議会議員団・市民ネットワーク・市政会)、9日(民主新政クラブ・五月会)の3日間にわたり、7会派の代表から市政運営などについて質問が行われました。

事務事業評価制度について

Q 事務事業評価システムについては、行政改革推進計画の中で、平成13年度から導入することが位置付けられているが、国が導入を進めている政策評価制度と違いがあるのか、伺う。
 A 国が導入を予定している政策「新規の政策」一定期間が過ぎても着手や終了していない政策など大規模な事業を対象として評価し、見直しにより効率的な行政運営を行うためのものである。一方、本市で検討している事務事業評価システムは、現在実施している事務事業を対象とするもので、事務事業がその本来の目的を達成するため、効果、市民ニーズ、コストなどを評価し、見直しを行うことについて評価するものである。

市民ネットワーク



24時間ホームヘルプサービス

全身性障害者支援について

Q 12月1日から自費式ヘルパー制度がスタートしたことが、公的ヘルパーと自費式ヘルパーを組み合わせて利用できないのはなぜか、伺う。
 A 24時間巡回型ヘルパーサービスのモデル事業の対象地域や対象者を積極的に広げていくことについて伺う。
 A 全身性障害者への自費式ヘルパーの派遣については、障害の特性を熟知し、介護に精通したヘルパーの派遣が必要であることから、今年12月より、本市の21世紀のまちづくりの指針となる「新総合ビジョン」がスタートする2001年は、新世紀の始まりであり、また同時に市制施行80周年にあたるため、これらを記念して、「新世紀・市制施行80周年記念事業」を実施したい。事業内容については、市民からも

民主新政クラブ

ミレニアムイベントの開催について
 Q 新しいミレニアムと21世紀にどのような希望を託し迎えるのか、見解を伺う。また、市民の市政に対する関心、市民意識を高めるため、2千年紀と21世紀に向けて、イベントを開催してはどうか。例えば、新総合ビジョン策定を契機にした行事や、本市のシンボルであるキョウチクトウ、ケヤキ、オオガハスを1000本実生から育て、「コアシサン」については宮果地の整備など実施してはどうか。
 A 新たなミレニアムと21世紀を迎えるに当たり、豊かな緑と水辺を後世に残し、市民一人ひとりが明るく生きがいと満ちた生活をおくることのできる都市として、



一時保育を実施している真砂第一保育所

また、日本や世界の発展に貢献する都市として、輝き続ける「郷土千葉市」の実現をあらためて強く望んでいる。
 また、本市の21世紀のまちづくりの指針となる「新総合ビジョン」がスタートする2001年は、新世紀の始まりであり、また同時に市制施行80周年にあたるため、これらを記念して、「新世紀・市制施行80周年記念事業」を実施したい。事業内容については、市民からもご提案をいただいております。今後、具体的に検討作業を進めていきたい。また、ケヤキやオオガハスなどの植樹などについても、検討していきたい。

保育所機能の拡充について

Q 保護者の就業形態や就業時間が多様化している現状を鑑み、夜間や休日保育の実施、一時保育や病児保育の充実など、多様な保育ニーズに対応した保育所機能の拡充を図る必要があると考え、見解を伺う。
 A 今後、一時保育の実施保育所を6か所から12か所に拡大したほか、7月からは病児保育を緑区において新規に実施した。今後の保育サービスの拡充については、次期5か年計画の策定作業の中で検討することとして、安心して子供を生み育てることが出来る保育環境づくりに努めたい。

日本共産党

千葉市議会議員団

介護保険料について
 Q 非課税世帯から保険料や利用料を徴収することは、生存権を否定する行為に当たると考えるが、見解を伺う。また、本市独自の所得者に対する保険料負担の軽減策を考へべきだが、どうか。
 A 課税、非課税の設定は、税の課税の観点から行われており、非課税世帯から保険料などを徴収することは、生存権を否定することになるとは考えていない。また、保険料の設定に当たっては、国が示した考え方に基づいて対応することが基本であり、保険料設定の弾力化は、保険料額が全国の平均水準を大きく上回るなどにより、

低所得者の負担が過大になるなどの特別な事情がある場合に認められるものであって、本市では保険料の設定方法を変更することは考えていない。

中小企業対策について

Q 中小企業の実態を調査すること、中小企業センターを設立して事業確保などの支援を行うことを求めるが、どうか。また、中小企業振興条例を制定して、中小企業を育成し、中小企業の営業と暮らしを守ることを求めるが、どうか。
 A 中小企業の実態調査については、これまで商店街などの現況を別地域商業診断などにより、事業者のニーズおよび実態の把握に努めているとともに、鉱工業指数などを経済動向としてまとめ、商工業者の実態把握にも努めており、それらの活用を図って施策に反映している。また、中小企業指導センターの

市議会

高場会館の建設について

Q 高場会館の建設事業も、ようやく地元の合意が得られ、一刻も早く建設に着手するよう願うが、高場周辺を取り巻く環境整備をどのように考えているのか伺う。
 A 近年、社会経済情勢の変化に伴い、自然環境の保全・余閑空間の創出への期待と健康・安全志向などに、市民の関心が年々高まっており、都市農業は市民生活にとって、ますます重要な役割が期待されている。そこで都市と農業が共生できる施策については、恵まれた立地条件を生かして、園芸部門を中心に収益性の高い営農体系の確立や環境保全型農業をより一層推進するとともに、市内農産物を市民に安定的に供給できる生産組織を育成、強化し、常設の直売所を設けるなど、直接購入しやすい環境づくりに努めていく。また、都市住民が直接土や緑にふれあい「うるおい」と「やすらぎ」の場とするため、市民農園・観光農園などをより拡充し、都市住民と農業者との交流を促進しながら、農業の活性化を図ってきたい。

都市農業の振興について

Q 都市農業を重視し、都市と農業が共生できる施策の充実が求められているが、その基本的な振興策をどのように考えているのか。
 A 都市農業を重視し、都市と農業が共生できる施策の充実が求められているが、その基本的な振興策をどのように考えているのか。

緑地の保全について

Q 緑と水辺の都市を標榜する本市の緑地保全の基本的な考え方について伺う。
 A 昭和59年に「緑と水辺の都市宣言」を行い、市民の総力をあげて豊かな緑と水辺の都市づくりを進めることを誓ったのは、泉自然公園や昭和の森、花鳥公園などの貴重な自然をいかした公園の整備、また、良好な自然環境を保全するため、市民の



中小企業指導センター



都市と農業のふれあいの中心施設「ふるさと農園」



泉自然公園

委員会審査・調査から



環境建設委員会審査風景

常任委員会

12月3日に開かれ、議案13件、請願3件を審査しました。その結果、全議案を可決し、請願は、不採択2件、継続審査1件となりました。

総務委員会

所管 総務局、企画調整局、財政局、市民局、会計室、選挙管理委員会など
千葉市基本構想や千葉市コミュニケーションセンター設置管理条例の一部改正など議案7件を審査し、基本構想に
関し、国の首都圏基本計画などに位置付けられた業務核都市としての業務機能移転の引き受け見込み、「望ましい都市の姿」の配列順と上位計画との関係、また、市民の声の反映状況などについて、質疑がありました。



1月15日にオープンした鉾取コミュニティセンター

保健下水道委員会

(所管) 保健福祉局、下水道局
一般会計補正予算や千葉市若葉いきいきプラザ新築工事請負契約など議案3件、請願3件を審査し、若葉いきいきプラザに関し、ディスプレイセンターを併設しない理由と今後の設置見通し、また、風呂場の浴槽の広さに対する見解、雨水の活用方法と浸透対策、さらに、本契約の入札結果について、入札の執行状況と予定価格に対する落札率に関する見解などについて、質疑がありました。
▼乳幼児医療費無料化の年齢の拡充に関する請願 不採択
▼介護保険の充実を求める請願 不採択



若葉いきいきプラザ完成予想図(平成13年度完成予定)

環境建設委員会

(所管) 環境局、建設局、水道局
一般会計補正予算と都市計画道路蘇我町線J R内房線・京葉臨海鉄道線交差部工事に係る工事委託契約の議案2件を審査し、工事委託契約に関し、当該箇所における今後の工事予定、鉄道会社への委託理由と鉄道会社が行う工事発注に対する本市のかわりの程度、また、当路線の今後の整備予定と近隣住民への環境対策などについて、質疑がありました。



蘇我町線J R内房線・京葉臨海鉄道線交差部工事予定地

経済教育委員会

(所管) 経済農政局、教育委員会、農業委員会
一般会計補正予算や千葉市立図書館設置条例の一部改正など議案4件を審査し、千葉市立図書館設置条例の一部改正に関し、本条例の改正に伴う各地区図書館の名称変更を市民へ周知する方法、また、緑図書館の開設について、職員と司書の配置予定数、地域および図書館関係者の要望の反映状況、本市の図書館における盗難防止装置の設置箇所と今後の

都市消防委員会

(所管) 都市局、消防局
一般会計補正予算の議案1件を審査し、都市公園内環境美化事業に関し、市内公園などにおけるホームレスの実態とこれまでの対策や市民からマナー面での批判が出てくる公園でのスケートボード使用の実態と市内で行える場所、およびスケートボード専用施設を整備する考えなどについて、質疑がありました。

特別委員会

少子・高齢化社会対策調査特別委員会

12月21日に開かれ、高齢者の生きがい対策と小・中学校における少子化対策について調査しました。

お知らせコーナー

●傍聴のご案内
平成12年第1回定例会は2月21日(月)に開会する予定です。
本会議は、原則として公開していただきますので、どなたでも傍聴できます。
傍聴は、本会議の当日、議事録1階で受け付けています。
会議日程は2月17日(木)に決まる予定です。
●点字版と録音版(テープ)の市議会だより
目の不自由な方に、市議会の活動をお知らせするため、点字版と録音版(テープ)を作成していただきます。
ご希望の方は、ご連絡ください。
●会議録の閲覧
本会議の審議状況などを記録した会議録は、市議会図書室、市政情報室、市立図書館(北部・南部・東部・こてはし・高洲・みやこ)や県立中央図書館で閲覧できます。
なお、第4回定例会の会議録は、第1回の定例会までに作成する予定です。

一般質問

市政に関する一般質問が、12月10日・13日・14日の3日間、10人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。
●女性センターのあり方について
●総合福祉計画の推進について
●介護保険制度について
●ガス化溶融炉について
●環境行政について
●休耕田の活用について
●千葉・市原丘陵開発について
●鉄道、道路等のトンネル、公共建物、ビル等のコンクリート落下および劣化について
●公共建築の建設について
●丹後塚公園と都川親水公園について



●紙から
*稲毛区天台町にある千葉県総合運動場(スポーツセンター)は、陸上競技場を中心に野球場、武道館、プールなどの施設があり、広く市民のスポーツの場として利用され、また、憩いの散策コースとして親しまれています。
*表紙に掲載しました写真は、1月3日に行われた、全国高校サッカー選手権大会千葉会場での試合風景です。首都圏9会場での開催のうち、千葉会場では、準々決勝を含む8試合が行われ、手に汗握る好ゲームが展開されました。テレビの全国放映もされましたので、ご覧になった方も多かったと思います。

千葉市美術館所蔵作品



おらんだみやげ 『和蘭陀土産』 横尾芳月 作 1926年

横尾芳月(1897~1990)は、博多生まれ、昭和29年、千葉市に移り、千葉市で亡くなった日本画家。この作品は、大正15年の第7回帝展に出品し、初入選を果たした芳月の代表作である。異国情趣の中に、太夫の怪しげな美しさを幻想的に浮かび上がらせている。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎(043)245-5472

